

マレーシアと省エネ支援に関する令和4年度第2回オンラインセミナーを開催しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和4年度もマレーシアとの二国間省エネ協力事業を継続実施しています。令和4年11月8日、マレーシアのエネルギー天然資源省他と令和4年度第2回目のオンラインセミナーを開催し、パイロット事業の紹介をして参加募集を行いました。



1. セミナー出席者：

(1) マレーシア側：

- エネルギー天然資源省 (MENR)： Assistant Secretary, Mr. Mohammad Helmi Bin Omar
- SEDA（持続可能エネルギー開発庁）： Director, Mr. Lojuntin他1名
- 民間企業8社（製薬、セメント、自動車、プラスチック等）：8名

(2) 日本側：ECCJ国際協力本部 7名

2. 実施概要：パイロット事業につき、以下の紹介と確認をしました。

- (1) 経緯：今年度、EC Guidelineとパイロット事業のセミナーを計画し、前者は8月25日に実施しましたが、後者はセミナーへの参加企業の募集が遅れていました。10月下旬に本事業に関心のある企業案が出てきて11月8日の開催を設定し、その後の確認結果、当日の参加企業は8社となりました。
- (2) パイロット事業紹介：“Proposed Key Specifics and Basic Plan”の題目で1時間、パイロット事業内容を紹介しました。これは複数社をモデルとしてISO50001を基にしたエネルギー管理システムの構築支援をするもので、特に今般、新たに従来の電気だけでなく熱も取り込んだ省エネ法が制定されるために、それらを総合的に管理するシステムの導入を図るものです。
- (3) 各社概要の確認：参加8社に対して業容、生産量、エネルギー消費量、本プロジェクトへの関心ポイント等を個別に確認しました。各企業では今回のセミナー結果を社内報告の上、実際に参画するかを判断することになりました。

3. 今後の予定

- (1) 12月下旬：パイロット事業に参画するかの回答入手
- (2) 来年1月下旬：参加企業の集約と選定検討
- (3) 来年2月末：パイロット事業参加企業の決定